様式Ｃ－１９

科学研究費助成事業（科学研究費補助金）研究成果報告書

平成２４年　５月２４日現在

機関番号：１７１０２
研究種目：基盤研究（C）
研究期間：2009～2011
課題番号：２１５２０２６３
研究課題名（和文）　南部文芸復興期の文学における南部の文化的自画像の持続と変容に関する研究
研究課題名（英文）　A Study of the Continuity and Transformation of Cultural Self-image of the American South in the Literature during the Southern Renaissance Period
研究代表者
小谷　耕二（KOTANI KOJI）
九州大学・大学院言語文化研究院・教授
研究者番号：４０１２７８２４

研究成果の概要（和文）：
本研究においては南部文芸復興期を代表する二人の文学者、アレン・テイトとウィリアム・フォークナーを考察の対象として取りあげ、前者の伝記作品『ストーンウォール・ジャクソン伝』と後者の小説『行け、モーセ』を、そこにどのような南部の文化的自画像が描きだされているかという観点から検討した。テイトのジャクソン像の造型にはこの詩人のモダニズム的不安からの脱却の夢が投影されていることを、またフォークナーは黒人女性モリー・ビーチャムの造型のなかに南部の伝統的な文化的自画像を書き換える力をはからずも付与したのではないかということを指摘した。

研究成果の概要（英文）：
I took up Allen Tate's biography of Stonewall Jackson and William Faulkner's novel, *Go Down, Moses*, and investigated what kind of cultural self-image of the American South is depicted in each work. I pointed out that Tate projected his own dream of escaping from the anxiety of modernism onto his characterization of Stonewall Jackson, and that Faulkner, before he knew it, gave to Mollie Beauchamp the potential for rewriting the traditional, stereotypical cultural self-image of the American South.

交付決定額

（金額単位：円）

	直接経費	間接経費	合　計
２００９年度	400,000	120,000	520,000
２０１０年度	500,000	150,000	650,000
２０１１年度	400,000	120,000	520,000
年度			
年度			
総　計	1,300,000	390,000	1,690,000

研究分野：人文学
科研費の分科・細目：文学・英米・英語圏文学
キーワード：南部文芸復興、文化的自画像、ウィリアム・フォークナー、アレン・テイト、『行け、モーセ』、『父たち』、『ストーンウォール・ジャクソン伝』

１．研究開始当初の背景
筆者はここ 10 年あまりアメリカ文学史上「南部文芸復興」と称される時期の文学と思想を研究してきた。この時期、農業中心の、

貧しく遅れた地域であったアメリカ南部に当時としては先端的といってもよいモダニズムの文学がいっせいに花開いている。そもそもはそのことにたいする疑問が研究の出発点にあった。南部の後進的な社会および旧弊な価値観と斬新なモダニズムがいったいどのような内的ロジックにより結びついているのか、そのことに関心があったのである。

そこで筆者はこの時期の文学と思想をとおして南部文芸復興の包括的な研究を行いたいと考え、代表的な文学者を個別的に取りあげながら作品論といった形で研究を進めてきた。これまでにウィリアム・フォークナーはいうまでもなく、そのほかにもアレン・テイト、アンドルー・ライトルらの南部アグレーリアン、またロバート・ペン・ウォレンやウィリアム・スタイロン、さらには、時代的にはすこし新しくなるがアーネスト・ゲインズといった文学者を取りあげている。『南部の精神』という歴史研究的著作を書いたウィルバー・J・キャッシュについても論じている。そのさいにいわゆるニュークリティシズム的な綿密な作品解釈を基本としながらも、同時にそこにどのような文化的神話やイデオロギーが作用しているかという視点をつねに保持するように努めてきた。

本研究も筆者のこうした包括的な南部文芸復興研究の一環をなしている。

ここで取りあげたテイトとフォークナーは、いずれもこの時期を代表する文学者であり、またいずれも典型的なモダニズムの手法を用いている点でも共通している。したがって、上述した南部の後進性と文学のモダニズム的特質の結びつきが端的に表出してくるであろうという予測のもとに考察の対象としている。

２．研究の目的

筆者の最終的な目標は、南部文芸復興期の文学と思想にどのような文化的神話やイデオロギーが作用しているのかをひろく文化史や思想史の流れのなかで考察することによってこの時期の包括的研究を行うことである。その目標を念頭におきつつ、本研究では、テイトが書いた、南北戦争時の南軍の将軍ストーンウォール・ジャクソンの伝記と、フォークナーの南部史にたいする展望が顕著に表れている小説『行け、モーセ』を取りあげて、そこにそれぞれどのような南部の文化的自画像が描きだされているかを明らかにすることを目的としている。

３．研究の方法

研究課題の性質上、先行研究の調査、収集、解読、整理、および文学作品の解読、分析といった文献研究が基本的な研究方法である。

文学作品の研究を基礎としているので、まずは文学テクストを綿密に解読、分析し、そのうえでそれを、先行研究の調査、整理によって得られた南部文化史や思想史についての広い展望のもとにおいて考察するという手順を、本課題の研究方法とした。

４．研究成果

九州大学言語文化研究院の紀要に発表した論文と、九州大学英文科の同窓会での講演原稿をもとに加筆修正を行い、さらに書き下ろしの原稿を加えて、冊子体の研究成果報告書をまとめた。

その第１章では、井出義光、本間長世、大橋健三郎（編）『アメリカの南部』の「総論」に基本的に依拠しつつ、南部史の流れのなかでどのような南部の神話がどのような要因により生じたか、またそれがどのように変貌していったかを、略述した。

第２章では、テイトの『ジャクソン伝』を論じた。ここでの骨子はおおむね以下のとおりである。

(1) 『ジャクソン伝』にはテイトの顕在的な南部像が声高に語られている。テイトは北部の歴史感覚の欠如、そこから由来する間違った自由の観念を批判し、その一方でパターナリズム的な観点から奴隷制度を擁護している。ここにみられるのは、個人の自由を無批判に信頼する北部的な楽天主義への批判であるが、そこには歴史的に形成された秩序に支えられなければ人間は拠り所を失い堕落しかねないという、人間の有限性への自覚である。つまりテイトの思想の中核には古典主義的な人間観が潜んでいる。

(2) 上述のようにテイトの反動的な北部批判と南部擁護がテクストの表面に顕在化しているが、そこだけに目を奪われていると、この伝記の深層に潜むものを見落としてしまいかねない。ジャクソン像がいかに描かれているかにもっと注目する必要がある。

(3) この伝記におけるジャクソン像の造型は、いわばフラット・キャラクター的造型である。ジャクソンはその義理堅さや公正さ、あるいは意志の強さ、融通の利かなさを一貫した特徴としており、それは生活の変化や身にふりかかる出来事によって変化することはない。また信心深さがもう一つの特徴となっている。

(4) テイトはジャクソンの内面描写を捨象

し、軍事行動のみに焦点を絞った叙述によって彼を軍神として神話化している。リー将軍も英雄的な軍人として神話化されているが、ジャクソンとリーとの間には違いがある。リー将軍が人間としての複雑さ、すべてを視野におさめる人間としての偉大さがあったがゆえに逆に兵士としては完全な存在となりえなかったのにたいして、ジャクソンは戦いにおいて勝利をおさめるというただ一つの目的のみに専心し、そのためにはあらゆる手段を使うことができた。

(5) 上述のフラット・キャラクター的造型と、内面性の捨象および信心深さは、戦いにおけるジャクソンの非情さと結びついている。これらは、自分を超えた大きな存在や秩序に何の迷いもなくみずからを預けきることのもつ強さや非情さを示している。

(6) ジャクソン像のこうした内面的葛藤の欠如、自分を超えた大きな存在への帰依というありようは、テイト自身が抱えていたモダニズム的人間観への反措定として構築されている。逡巡や疑念とは無縁で、「単純な心の持ち主」ジャクソンの姿に、「引き裂かれた精神」の持ち主テイトは、思考と行動が分裂し、過去と現在とが乖離している現代人のモダニズム的不安からの脱却の夢を投影していた。

(7) ジャクソン像とモダニズム的人間の対比は、文体にも反映している。『ジャクソン伝』の文体は一見するとヘミングウェイの文体を髣髴とさせるが、じつはむしろ旧約聖書的である。旧約聖書的文体で語られる神話化された軍神としてのジャクソン像は、内面に亀裂をかかえたモダニズム的人間とは対蹠的な地点にある。そこにはモダニズムの不安を解消する一つの方法としてジャクソン像を構築しようとするテイトの暗黙裡の願望をみてとることができる。

(8) テイトがモダニズムへの反措定としてジャクソン像を神話化して構築しているからといって、そのことが貴族的な＜旧南部＞への賛美に直結しているわけではない。

(9) 『ジャクソン伝』はテイトの内面を映す鏡となっている。テクストの表層では激越な南部擁護論を戦闘的に展開し、またジャクソンの軍人としての行動に焦点をあて、神話的な英雄像を構築しているが、その奥にはモダニズム的亀裂からの脱却を希求しつつも、その不可能性の意識に捉えられたテイトの姿が浮かびあがってくる。反動的、保守的南部擁護論と軍神としてのジャクソン像の造型は、同時にそれらを必然的に呼び寄せざるをえなかったテイト自身の内面の自画像ともなっている。

第 3 章ではフォークナーの『行け、モーセ』を、この小説のタイトル・ストーリーとなっている最終章に焦点をあてて、南部の文化的自画像の問題を論じている。そのおおまかな論旨は以下のとおりである。

(1)モリー・ビーチャムのためにその孫の葬式を行うことができるようにと奔走するギャヴィン・スティーヴンズは善意の人であるが、そのパターナリズムにもとづいた行動は黒人たちの世界から拒絶されている。そこには彼のパターナリズムの限界が示されている。

(2) スティーヴンズの限界はその風刺的な描かれ方にも反映している。彼は旧約聖書を古典ギリシャ語に逆翻訳するという無益なことを 22 年間にわたって行っている人物として揶揄されている。これは、モリーたち黒人がこころをとおして聖書を理解するのとは対照的に、彼が聖書を本当は理解しえていないのではないかという可能性を暗示している。

(3) こうしたスティーヴンズのパターナリズムの限界は、アイク・マッキャスリンやロス・エドモンズの限界にも通底していくものである。

(4) モリーにたいして用いられた、「もとの形を保ったまま燃えつきて灰になってしまっている一枚の紙切れ」という比喩は、ルーカスとモリーの結婚生活やマッキャスリン農園の土地台帳を暗示しており、最終章には姿を見せない、いわばアイクとルーカスの消え去った灰のなかから、モリーがあたかも不死鳥のごとく甦り、黒人たちの悲しみの声を響かせることを象徴しているとも読める。

(5) モリーの声は南部史のなかで形成されてきた白人たちによるパターナリズムの文化的自画像に対峙し、それを書き換える潜在力を秘めた声である。フォークナーはみずからのパターナリズムの限界を知らず知らず食い破って、モリーという黒人女性像のなかに南部の自画像を書き換える力をはからずも付与してしまったのではないか。

本研究の研究成果は以上のとおりであるが、テイトに関しては、日本ではその伝記作品を扱った研究は大井浩二の研究を除けばほとんどない。テクストの綿密な分析にもとづいて、フラット・キャラクター的なジャクソン像の造型にテイトがモダニズムの不安から

の脱却の夢を投影していたのではないかという指摘は、海外の研究も含めて、管見の限りでは独自の見解ではないかと思われる。
　フォークナー論については、近年の黒人の声を積極的に評価しようとする研究動向に基本的にはもとづいているが、モリーを形容する比喩に焦点をあて、その意味あいを独自に解釈した点はこれまでにない着眼ではないかと思う。

　このほか、この冊子体の報告書には収めることはできなかったが、テイトの『父たち』についても論考をまとめており、テクストの表層の＜旧南部＞対＜新南部＞という対比の奥に、現代人のこころの深層にひろがる無意識の闇、あるいは人間の存在の原形質のような名状しがたい「何か」をテイトが描きこんでおり、そこにパリンプセスト的な奥行きのある文化的自画像が描きだされていることを指摘した。なおこの論考は、平成 24 年 5 月の九州アメリカ文学会（熊本大学で開催）において口頭発表した。

５．主な発表論文等
（研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線）

〔雑誌論文〕（計１件）
① 小谷耕二、アレン・テイトの伝記作品と南部の文化的自画像――『ストーンウォール・ジャクソン伝』を読む、言語文化論究（九州大学大学院言語文化研究院）、28、2012、195－209、査読有

〔学会発表〕（計１件）
① 小谷耕二、アメリカ南部作家と南部の文化的自画像、九英会英語学英文学談話、2012 年 2 月 18 日、九州大学文系地区キャンパス

〔図書〕（計１件）
① 小谷耕二、南部文芸復興期の文学における南部の文化的自画像の持続と変容に関する研究 平成21年度～平成23年度科学研究費補助金 基盤研究（C） 研究成果報告書、ミドリ印刷、2012、ⅲ＋51

６．研究組織
(1)研究代表者　小谷　耕二
（ KOTANI KOJI ）
研究者番号：４０１２７８２４